

議会だより



◀ 経済産業省関大臣政務官へ申し入れ
▼ 野瀬町長に最終の議会の意思を伝達



contents

- ◆ トピックス「平成27年度予算」 P2
- ◆ トピックス「高浜原発再稼働について」 P3
- ◆ トピックス「薬草栽培技術協定締結」産業化へ ... P4
- ◆ 質疑・討論 P5
- ◆ 採決一覧表 P6~7
- ◆ 一般質問 P8~13
- ◆ 各委員会報告 P14~19
- ◆ 地域医療を守り育てる住民活動・編集後記 ... P20

平成26年度一般会計補正予算 **新規4事業** を含め **10億4,098万円**を平成27年度に繰越となる！

- 政策推進事業(地方人口ビジョン策定、地方版総合戦略で人口減対策)に
.....**620万円**
- プレミアム商品券発行事業(総額5,000万円で購入に最大20%上乘せ)に
.....**1,355万円**
- ブルーフラッグ認証取得事業(平成28年4月の日本初の認証に向けて)
.....**1,013万円**
- 原子力防災対策施設改修事業(内浦公民館施設改修、備品購入費)に
.....**2億691万円**

平成27年度当初一般会計予算 **新規33事業** を含め **112億492万円**の大型予算決定！

- 政策推進事業(若狭大飯郡スポーツコミッション検討委員会事業補助金)に
.....**300万円**
- 町村合併60周年記念事業(町村合併60周年を記念した式典の実施)に
.....**496万円**
- 公共施設マネジメント事業(公有財産及び固定資産台帳の整備業務)に
.....**831万円**
- 行政システム管理事業(マイナンバー制度導入対応でシステム関連改修)に
.....**5,696万円**
- 地域福祉計画策定事業(H28～32年度の次期高浜町地域福祉計画)に**497万円**
- 子育て支援事業(病児・病後児保育業務及び旧高浜町隔離病舎改修工事)に**3,369万円**
- 園芸産地育成強化事業(次世代大規模園芸施設整備等、乗入道路整備)に**20億2,500万円**
- 鳥獣被害対策事業(獣害防止柵〔ネット柵・金網柵〕等の被害軽減整備)に**7,153万円**
- 水産振興事業(船舶省エネエンジン購入、漁港施設改修、定置網改良補助)に**1億4,928万円**
- 青葉山健康長寿の里事業(青葉山麓研究所に係る環境保全、薬草開発)に**1億3,445万円**
- 都市下水路事業(和田地区冠水対策調査設計業務委託料)に**1,405万円**
- 公営住宅事業(緑ヶ丘住宅改修設計業務及び緑ヶ丘2号棟屋上防水工事)に**1,896万円**
- 防災対策事業(原子力防災住民避難対策に必要な車両、資機材、避難所整備)に**4,463万円**
- 防災対策事業(福井県防災情報ネットワークシステム再整備工事負担金)に**1,615万円**
- 小中学校管理運営事業(外国人ALT配置、デジタル教科書、教師用教材他)に**8,193万円**
- 和田公民館建設事業(和田公民館建設に伴う実施設計、測量調査設計業務)に**1,256万円**
- 福井国体推進事業(福井国体高浜町準備委員会、トライアスロン大会開催補助)に**720万円**
- 体育施設整備事業(西地区体育館老朽化に伴うリフレッシュ改修工事)に**4,858万円**

平成27年度当初予算決定!!

3・4号機再稼働に対し、下記認識により「同意」する



高浜町議会は、高浜原子力発電3・4号機の再稼働に対し、下記認識により「同意」する事と致します。

- 2月12日、原子力規制委員会による新規規制基準適合審査が、20ヶ月に渡る厳格な審査を経て、全会一致にて「適合している」との審査書を確定した、こと。
- 2月14日、原子力発電所立地市町協議会の中央要請活動にて、清水規制庁次長・及び中央経団連幹部に対し規制委員会の審査迅速化等について努力要請を行った、こと。
- 2月16日、宮沢経済産業大臣より野瀬町長に電話での協力依頼。2月17日、エネ庁小澤課長より町長に説明・協力依頼。
- 2月20日、町議会全員協議会にて、規制庁・エネ庁から直接説明を受け意見交換の後、高浜原発3・4号機の最新の安全対策の現地視察を行った、こと。
- 2月25日、舞鶴・高浜両議会有志による振興協議会にて、再稼働に対する概ねの理解に至った、こと。
- 3月4日、原子力対策特別委員会にて、高浜原発3・4号機再稼働に関わる5件の請願・陳情案件の審査を行い、再稼働反対の3件を「不採択」に、再稼働賛成の2件を「採択」と決し、議会本会議において総理大臣を始め関係各大臣・県議会議長・西川福井県知事宛の「8項目の要望を記した高浜町議会意見書」を採択した。
- 3月5日、県議会議長に意見書を手交し、田村議長より「高浜町議会の意見書採択を尊重し、県議会での論議に生かしたい」との回答を頂き、経済産業省政務官に面談し、意見書8項目を詳しく説明し、政務官より「高浜町にはこれまで長年にわたって国の原子力政策に多大なる貢献を頂いてきた。感謝を申し上げたい。同時に、高浜町民の皆様の「志」を重く受け止め、今後とも、原子力行政に、しっかり取り組んで行く。また、頂いた要望について、真剣に検討し、取り組みを進めてまいりたい。」との回答を得た。特に「原子力災害時の避難計画を含む地域防災計画は地域住民の皆様の安全・安心の観点から重要であり、総理を議長とする、中央防災会議で確認していく。又、避難道路等の整備も含め、関係省庁と連携し、しっかり検討してまいりたい。」との回答を得た、こと。

また、高レベル放射性廃棄物の最終処分の課題については、着実に進める。使用済み燃料については、発電所内外を問わず新たな地点の可能性を幅広く検討しつつ、中間貯蔵施設や乾式貯蔵施設等の建設・活用を促進すると共に、その為の政府の取り組みを強化する。」との回答を得た、こと。

- 3月6日、内閣府平井政策統轄官・森下参事官に面接し、避難計画を含む原子力防災対策について、出来るだけ早期に政府としての全般的な対策を明示するよう要請した。

また、菅官房長官・山崎参議院議長等に直接意見書を手交し8項目の要望実現に向け強く協力を要請した。

- 2月27日、高浜原発3・4号機再稼働に関する、京都府と関西電力の間で「安全確保等に関する協定書」調印と同時に、京都府・舞鶴市・関西電力3者により「舞鶴地域の安全確保に関する覚書」の調印が行われた、こと。

以上の経過・認識により、高浜原発3・4号機の再稼働について、高浜町議会は「同意」する事を野瀬町長に表明するが、町議会で採択された「8項目の要望」が、今後、野瀬町長・福井県議会・西川知事の決断がされる経過期間の中で、その実現にむけ最大限の努力を傾けて頂くよう、強く期待するものである。

平成27年3月20日

高浜町議会議長 的場 輝夫

原子力発電所3・4号機の再稼働について



真の安全重視のもと、高浜発電所3,4号機の速やかな再稼働実施及び各種対策を求める意見書

高浜発電所が関西地域に電力を送り初めてから40年が経過しました。高浜町に住む私達は、これまでの幾多の原子力発電をめぐる困難を乗り越え、エネルギー資源の乏しいわが国にとって原子力の平和利用が国家のエネルギー基本政策であり、関西地域の国民生活・経済活動の向上に寄与し続けてきた事に、強い自信と誇りを維持してきました。

平成23年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故は、同じ立地地域に住む私達にとっても痛恨の極みであり、被災住民の皆様の日も早い復興を願うと共に、二度とこの様な悲惨な事故を起こす事の無いよう、安全・防災・避難対策の徹底強化に向け、国・事業者をはじめとする関係者の全てが最大限の努力をしなければなりません。

エネルギーは社会経済の根幹であり、安全性を前提に供給安定性・経済性・環境適合性を兼ね備えていなければなりません。国はエネルギー基本計画に沿い早期に原子力を含む数値でのベストミックスの確定や、バックエンドに関する課題の解決にも全力で取り組み、立地地域に住む私達の願いに応え、信頼関係の回復に努めるべきである。

福島第一原子力発電所事故により、高浜原子力発電所の長期停止となり保守業務の減少に伴ない、原子力の熟練技術者が離職を余儀なくされ、安全技術レベルの低下も危惧される状況にある。また、高浜町内の経済は業種を問わず、極度に疲弊し危機的状況に追い込まれている。

上記の状況・認識に基づき以下の点について誠意ある回答を示されるよう強く求めます(8項目の具体的要望省略)。

平成27年3月4日

福井県高浜町議会

薬草の産地化へ知と技の連携体制始動！

TOPICS

ト
ピ
ッ
ク
ス

平成27年3月26日(木)、17:00より城山荘で開催された調印式(約30名が参加)では、高浜町、公益社団法人東京生薬協会、独立行政法人医薬基盤研究所と「薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定書」について3者による調印を実現。これに先立ち行われた試作圃場の視察では、難波江地区等を見学、また拠点施設である「青葉山健康長寿の里(旅行村)」も立ち寄り、青葉山麓の可能性を再確認してまわった。



薬草の連携協定を結んだ藤井会長、野瀬町長、川原センター長(左から)

■ 調印の主な内容



- ・平成27年3月26日より平成32年3月31日まで
- ・薬用植物の試作栽培を行う
- ・高浜町は農業従事者の確保、東京生薬協会は栽培の技術指導、医薬基盤研究所は種苗の提供などを担当する

青葉山麓には生薬などとして利用できる有用植物が373種類自生している。これら植物から採取した種を栽培し、薬膳料理など特産品の販路開拓につなげるのが狙い。今回の調印が全国で5番目で、「青葉山麓研究所」のメンバーらが協会の専門家から栽培方法を学ぶ。

野瀬町長は「高齢化や休耕田の増加などの課題に対応する必要があった。特に国産の安全な漢方薬は需要があり、試作栽培からはじめてノウハウを町内で蓄積したい」と述べた。藤井会長(東京生薬協会)は、「秋田県では、のど飴にして販売した事例がある。環境に適する薬草を選定し、流通にこぎ着けたい」と意欲を示した。

4月以降は、試作圃場の土壌改良(4月～5月)、薬草の種苗の選定と定植(5月以降)、を予定している。

東京生薬協会・医薬基盤研究所と
高浜町が、5年間の連携協定を結びました



試験栽培地見学



薬草 山野草園

100～150種類

山野草園の管理
薬草や山野草の育苗、販売
将来的な薬草販売

青葉山健康長寿の里(旅行村)イメージパース
H28.3月完成予定

本会議での質疑・討論

質疑 議案第4号

渡邊 孝議員

城山公園整備の町長の所感は。

町長

城山荘は、財源のめども立っていないのでこのままで行きたい。公園は、道路線形の改良と事代へのアクセス道の課題もあり進める。

質疑 議案第25号

渡邊 孝議員

新庁舎で住所の地番の決め方は。

総務課長

中心的な場所と面積の大きいところの地番を活用する。

質疑 議案第36号

小幡憲仁議員

6100円に上げると言うことだが、高すぎないか。基金に貯めることになれば不公平になる。

福祉課長

様々な推計を出して算出した。給付費の伸びを見ながら不公平感が出ないように進める。

討論 陳情第4号

賛成討論

渡邊 孝議員

生産者の窮状を救うためには、直ちに意見書を上げるべきである。

討論 議案第14号

反対討論

渡邊 孝議員

新庁舎公民館の建設には反対。同和対策は終了すべき。原発頼みの予算は不健全である。原発に未来はない。反対する。

討論 議案第15号

反対討論

渡邊 孝議員

国保の広域化には反対である。

賛成討論

栗野明雄議員

人口減少社会を迎え広域化は避けられない現状にある。賛成する。

討論 議案第18号

反対討論

渡邊 孝議員

保険料がはね上がる。国がもっと負担すべきである。

賛成討論

山本富夫議員

日本国民としてそれなりの負担

をし、支えていく義務がある。問題点については議論をして、追求していきたい。

賛成討論 勝本繁昭議員

負担に対し、プレミアム商品券などで補助をするとの答弁があった。賛成する。

討論 議案第22号

反対討論

渡邊 孝議員

埋め立てそのものに反対。

賛成討論

山本富夫議員

新たな雇用が生まれる事業が始まる。これは埋め立ての成果である。賛成する。

討論 議案第24号

反対討論

渡邊 孝議員

加入金は資本的収入に入れるべきである。

賛成討論

山本富夫議員

問題ない。賛成とする。

討論 議案第25・39・40号

反対討論

渡邊 孝議員

新庁舎建設に反対。

討論 議案第27号・30号 発委第2号

反対討論

渡邊 孝議員

教育長は町長の配下になる。

討論 議案第33号

反対討論

渡邊 孝議員

市町村の責任の後退。

討論 議案第34号・35号

反対討論

渡邊 孝議員

国の責任の後退。

討論 議案第36号

反対討論

渡邊 孝議員

耐え難い値上に反対。

賛成討論

山本富夫議員

国民の義務として支えていく。

討論 発委第3号

賛成討論

勝本繁昭議員

防災などの避難道・生活道路として必要である。



	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第26号	高浜町行政手続条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第27号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P5・16
議案第28号	高浜町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第29号	高浜町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第30号	高浜町教育長の勤務時間その他勤務条件に関する条例の制定について	総務産業	賛成多数で可決	P5
議案第31号	高浜町青葉山健康長寿の里の設置及び管理に関する条例の制定について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第32号	高浜町下水道条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第33号	高浜町立保育所条例の一部を改正する条例について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第34号	高浜町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第35号	高浜町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第36号	高浜町介護保険条例の一部を改正する条例について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第37号	高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第38号	高浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに高浜町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第39号	高浜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第40号	高浜町新庁舎公民館建設工事請負契約について	総務産業	賛成多数で可決	P5・16
議案第41号	高浜町老人憩いの家の指定管理者の指定について	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第42号	高浜町社会福祉センター及び高浜町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	厚生文教	全員賛成で可決	P17
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて			—
請願第1号	政府に対して「避難計画の実効性が確保されるまで原発の再稼働をおこなわないこと」を求める意見書採択を求める請願	原子力対策	賛成少数で不採択	P3・18
請願第2号	高浜原子力発電所3号機、4号機の再稼働認めない請願	原子力対策	賛成少数で不採択	P3・18
陳情第1号	真の安全重視のもと、高浜発電所3、4号機の速やかな再稼働実施及び各種対策を政府に要求する意見書提出を求める陳情	原子力対策	賛成多数で採択	P3・18
陳情第2号	高浜発電所3、4号機の早期再稼働を求める陳情	原子力対策	賛成多数で採択	P3・18
陳情第3号	関西電力の高浜原発3、4号機と大飯原発3、4号機の再稼働に「同意」しないよう求める陳情	原子力対策	賛成少数で不採択	P3・18
陳情第4号	政府に米価対策に関する意見書提出を求める陳情	総務産業	賛成少数で不採択	P5・16

●人事案件…1議案 ●請願…2議案 ●陳情…4議案 合計46議案(39議案可決、1議案諮問、2議案採択、4議案不採択)



3月定例会では 以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第4号	平成26年度高浜町一般会計補正予算(第2号)について	予算決算	全員賛成で可決	P2・5・14
議案第5号	平成26年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第6号	平成26年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)について	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第7号	平成26年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第8号	平成26年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第9号	平成26年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第10号	平成26年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第11号	平成26年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第12号	平成26年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第13号	平成26年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第14号	平成27年度高浜町一般会計予算について	予算決算	賛成多数で可決	P2・5・14・15
議案第15号	平成27年度高浜町国民健康保険特別会計予算について	厚生文教	賛成多数で可決	P5
議案第16号	平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算について	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第17号	平成27年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算について	厚生文教	賛成多数で可決	—
議案第18号	平成27年度高浜町介護保険特別会計予算について	厚生文教	賛成多数で可決	P5・17
議案第19号	平成27年度高浜町簡易水道事業特別会計予算について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第20号	平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計予算について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第21号	平成27年度高浜町集落排水事業特別会計予算について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第22号	平成27年度高浜町公有水面埋立事業特別会計予算について	総務産業	賛成多数で可決	P5・16
議案第23号	平成27年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算について	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第24号	平成27年度高浜町水道事業特別会計予算について	総務産業	賛成多数で可決	P5・16
議案第25号	高浜町役場の位置を定める条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P5

●予算案件…10議案 ●当初予算案件…11件 ●条例案件…15件 ●契約案件…1議案 ●その他案件…2議案



奨学金の返済に補助を

答弁 制度創設を検討する

栗野 明雄 議員

【栗野】

人口減少社会を迎え、その対策は急務である。それには子育て環境の整備が重要である。高学歴社会の中、奨学金を使つての進学も多い。しかし、その返済に苦労しているのが現実だと思う。都会へ進学した若者が、地元に戻つてくるきっかけ作りも重要である。奨学金の補助制度を設けてはどうか。

【政策推進室長】

全国的には、奨学金を返済できない若者が増えていると言われている。「人口減少対策本部」にて、検討しアンケート・ヒヤリングなど調査し、制度創設を検討したい。

◆国体選手の雇用に対する考えは

【栗野】

前回の福井国体では多くのアスリートが、福井県に就職し、その後、指導者となり、県内のスポーツ振興に貢献された。私もその様子を見てきた一人である。国体を一過性のものにするか、次につなげる

のかは人材次第である。お考えを伺う。

【教育長】

国体選手として出場し、そのまま高浜町でスポーツ振興に関わつて頂くのは理想的である。各競技団体の協力を仰ぎながら、28年度からの人材確保に取り組みたい。



◆産業団地計画の進行状況は

【栗野】

これまで2回質問した。本当にやる気があるのか疑問に感じる。お考えはどうか。

【おまへくろ課長】

専門家と現地確認・現状と課題・企業誘致戦略など検討している。企業誘致は町の将来を左右するものである。早期実現をめざしたい。



平成27年度当初予算の取組について問う

答弁 3月補正分と連動した執行

横田 則孝 議員

【横田】

野瀬町長におかれては、構想から実現へ、検討から着手へと取り組まれているところではあるが、景気の低迷と財政の硬直化で高浜町を取り巻く環境は、大変厳しいものがある。こう言つた時こそ将来につながる政策又地域振興や経済対策などが必要と考えるが取組について問う。

【町長】

地域振興や経済対策は、国の補正予算と連動するかたちで、本3月議会の補正予算と平成27年度予算と一体的に執行を考えている。

① 地方版総合戦略の策定② ブルーフラッグ認証の取得③ プレミアム商品券の発行など国の地方創生関連の財源で考えている。当初予算として次世代施設園芸事業や地域資源のブランド化、観光の新たな切り口など地域活性化プロジェクトのキーマンとなる人づくりにも力を入れて取組んで行きたい。

◆新年度に向けた原子力防災について問う

【横田】

新年度に向けて、実効性のある避難計画や避難訓練の充実が必要と考える。一度、内浦地区や青郷地区で実践的な避難訓練をすべきである。避難先へ行き、避難ルートや避難場所の確認など住民の方々が直接現地へ行き、一つ一つ検証しながら、実効性のある取組が必要と考えるが対応を問う。

【防災安全課長】

これまでは、行政が主体となり計画、実施してきた大規模な原子力防災訓練の概念から、地域や集落単位、自主防災組織等で、住民が主体となり訓練を計画、実施していただくように考えている。

住民の安全と安心の確保を第一に、災害に対する住民の意識の高揚を図るため、防災関係機関や区長会、自主防災組織と十分連携しながら、実効性のある避難計画作りに取組みたい。



高収益型漁業への転換に補助を

答弁 10%以上の漁業所得向上につなげたい

磯部 武史 議員

任期最終議会に当たり、これまでの質問の現状と課題について聞く。

◆高収益型漁業への転換に補助を

【磯部】

県の、漁業者による商品力アップ事業が最終年度で、期間中の利用者はなかったと聞く。

新年度予算には、国の補助制度に伴う、省エネエンジン更新等補助という予算が計上され、個人負担は3割となっている。説明を。

【まちづくり課長】

現在、漁業をはじめ関連団体で、高浜地区水産業再生委員会を設立し、浜の活力再生プランに取り組んでいる。

10%以上の漁業所得の向上を図るもので、この策定・実行に対して国の支援が得られるものである。

【磯部】

意欲のある漁業者が使いやすい制度となるよう、行政側も協力していただきたい。

◆城山キャンプ問題とアプローチ改善

【磯部】

公園内でのキャンプ問題は、大きく改善してきた。対策の継続を。アプローチ改善問題では、事代会館移転問題があり、22年度から何度も説明を受け検討を重ね、この3月上旬に移転については了承に至った。

新築にあたっては、地元との協議を十分に取りながら計画を進めていただきたい。見解を。

【まちづくり課長】

条例を策定し、海のルールブックを基に、より楽しむことのできる公園・海岸の構築に努めていく。道路線形の改修、歩道の整備等、開放感あふれるエントランス空間を創出していく。

地域のみなさまと、協議を重ねながら基本設計を進めていく。



避難バイパス道路の進捗状況は

答弁 柿ヶ渡線整備を優先する

井ノ元 康夫 議員

町道柿ヶ渡線の設計が完了し、広瀬線を経由して県道野原港・高浜線に接続し避難道路としてバイパス化する計画であるが、その進捗状況を問う。

【建設整備課長】

複数のルートを検討している。この計画区間は、地すべり区域、急傾斜、特に海岸線等大変険しい条件になることから、概算工事費も巨額な費用になると予想される。柿ヶ渡線整備を優先して早期着工を図れるよう、具体的な財源確保に向けた資料作成を進めている。

今後は実現性の高い路線ルートを見極める。

【井ノ元】

鳥獣被害では農作物被害に限らず、交通事故、生活環境に及ぶ被害が報告されている。それぞれの獣種にあった対策が必要であるが今後の対策について問う。

【まちづくり課長】

早急な対策が求められる中で、「追い払い」「防衛」「捕獲」を基本軸に見据え、行政、猟友会、集落、関係機関連携のもと被害対策を推進する事が必要と考えている。高齢化による活動体制が困難である事、どのような対策が有効か等、様々な課題がある。各集落の現状把握を行い、対策の提案を行う為に、有識者による専門的なアドバイスを受けて頂くよう、平成27年度事業として「鳥獣被害調査業務」で取り組んで行きたいと考えている。

有害獣を寄せ付ける要因となっている野菜くずや、不要果樹、防護柵の設置状況、加害獣の痕跡等調査し集落マップに落とし込み集落に応じた「見える化」を行い集落、行政、猟友会、関係機関等の役割分担も明確化して行きたい。恒久柵設置にかかる負担金、管理方法など問題点を精査する委員会を立ち上げたい。



高齢者問題について

答弁 老老介護の人材の充足も含めた課題

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

昨年12月現在で高浜町の高齢者65歳以上人口が3126人、75歳以上人口が1万843人である。高齢者2人暮らしの家族が増えている。老老介護問題での認知症等どのように。行政としての対策を考えているか伺う。

【福祉課長】

独居高齢者世帯が445世帯、高齢者のみ世帯が247世帯となっている。合わせて692世帯が高齢者だけで構成されている世帯である。この様な状況の中、町では、地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する様々な相談を受けている。支援の在り方含め、関係機関と連携の上、一つずつ、解決の方向へ進めている現状である。高齢者の老老介護については、全国の自治体でも大きな課題となっている。当町の方針としては、【自助】【互助】【共助】【公助】の4つの助けあいで対応していきたいと考えている。普段から自身の健康

管理を行ない介護対象にならないような取り組みを行い、予防活動

が大切である。地域活動などに参加して、高齢者の引き籠りによる機能低下を招かない生きがいづくり等の参加促進である。要介護状態にならないよう健康管理（セルケア）できるよう福祉課・保健課での相談や運動教室で自己健康管理の方法を伝える。

又各地区のサロンの立ち上げや介護家族の会での支援を通じ、住民自らが介護の方法やボランティアによる支援に結びつための施策を行うなどの拡充を図りたいと考える。

老老介護と申しても個々のケースに応じ何が問題なのか、どういった対策・支援がとれるか違いがある。地域包括支援センターや福祉課に専門職がいる。課題に対応していく。



人事管理（行政運営）について

答弁

機構改革により業務の偏りを検討する

清常 光洋 議員

【清常】

現在の町の行政運営は、従来の自治体の統治機構「タテ割行政」に各課横断する「プロジェクト」型を併用する型が取られているが最近色々な事象がある。

中でも、各課メール連絡による県補助金事業取り扱いミス、入札後の大幅設計内容変更、その他、公金に関する不祥事、メンタル面で体調不良をきたす職員等がある。

これらの要因として、プロジェクト型による責任体制の分散があるのではないかと。また、最近のパソコン、スマートフォン等による職員間のコミュニケーション不足と、町長のリーダーシップが強すぎないか。

【町長】

企業誘致にあつては、ある意味リーダーシップはとりましたが、トップダウンとボトムアップのバランスの取れた組織になるよう組織強化に努めていく。

【総務課長】

プロジェクト型にあつても、各部署の縦のラインが基本であることは理解しており、指摘の不祥事については、その都度改善策や防止策を講じ未然防止に努めている。

コミュニケーションについては、職員と直属の管理職が随時色々な相談は行っている。又、新庁舎完成に向け、機構改革を行い個々の「業務量の偏り」を検討する。

◆電源3法交付金の実績について

【清常】

昭和49年度交付金制度導入から平成25年度までの実績（交付金累計・主な事業）は。

【総務課長】

交付金総額は358億1300万で、主な事業は上下水道の整備、農林水産業施設、道路改良、教育施設整備、福祉施設整備、防災対策等ハード事業が主である。

平成15年度からは使途が拡充されソフト分野や、経常経費にも活用充当している。



道の駅シーサイド高浜の国の評価は

答弁 計画策定はできず

勝本 繁昭 議員

【勝本】

道の駅は全国に1040カ所あり、主に市町村が設置し地元特産品の直売や高齢者の買い物支援サービスを行うなど個性ある駅が増え、地方の雇用創出や経済効果への期待も高いものがある。当町の道の駅も国土交通省の方へ計画案など提出し評価を受けられたのか。

【まちづくり課長】

今回の計画策定の条件には①観光総合窓口。インバウンド、地域移住の促進といった地域外からの活力を呼ぶ「ゲートウェイ」②産業振興、地域福祉、高度な防災機能といった地域の元気を創る「広域センター型」の二つの特化された機能が求められており、町内で他の施設が受け持つ機能や、今後計画が深耕されていくものなどが混在しており、現時点においてこれらの調整に時間を要することから計画策定には至らなかった。

◆町へのイターン・Uターン促進について

【勝本】

農山村、漁村の人口を増やすには、イターン・Uターン者を呼び込むアイデアが必要である。

そこで町の農山村漁業複合施設を設け、実験体験が出来るようにし、3年間程度で起業の具体策を練れる場を設けることが重要と思うが如何か。

【まちづくり課長】

イターン・Uターンの促進策として「農山村漁業複合施設を整備し、起業体験の場を創出してはどうか」とのご提案について、現在6次産業施設の計画を進めている。

6次産業施設を同じ目的で運営し分野ごとに目標を今後設定していく、前向きに3年間程度の「お試し体験」が出来るような試行制度など設け、高浜町内だけでは賄えない人材を外から確保するイターン・Uターンに繋げていければと考えている。



再稼働同意の判断時期は

答弁

判断材料を確認し、
県知事・議会選挙のあとなる

上尾 徳郎 議員

【上尾】

規制庁制作の「審査概要の説明」を有線テレビ放送で放映するとの手法の意図と、再稼働同意の判断で重要となる条件とは何か。

【町長】

限られた中での公開討論会形式ではなく、家庭の落ち着いた環境の中で説明を視聴し理解して頂く事が必要との考え。質問や規制庁からの回答は丁寧にお知らせする。

同意判断の条件は、①原子力規制委員会の審査内容の周知と意見集約②国のエネルギー政策への強い意志③防災面の課題解決への取り組み・支援の確認④議会の判断

◆大型公共事業について

【上尾】

新庁舎・公民館建設の施工管理体制と施設設備の要望取り入れは。

【総務課長】

総務課が予算管理し、設計者に施工管理業務を委託予定。建設整備課（2名を監督職員）にて工事全

般をマネジメントの予定。公民館の設備備品は今後の運営方針などの展開をみて徐々に整備を図る。

【上尾】

中央体育館改修の基本概念と現在の進捗状況は。

【教育長】

「本来の体育施設としての充実」「安全安心を創る施設」を基本コンセプトに基本計画・設計に入り施設規模の検討中。27年度に実施設計・28年度工事実施の予定。

◆人口減少対策について

【上尾】

人口減少対策「地方版総合戦略」の目的と取り組みは。

【政策推進室長】

町長を本部長に各課若手・中堅職員をメンバーに対策本部を設置。定住に向けた町独自のビジョンと戦略を現場の課題を共有して地域の方とも協議し策定。事業の数値目標を設定し検証・改善を重ねる。



自主防災組織設立に補助出来ないか

答弁 新年度に前向きに検討する

山本 富夫 議員

◆平成27年度予算内訳について

【山本】

平成27年度当初予算は、一般会計総額112億492万3千円で、内33件の新規事業が示された。平成26年度補正予算も地方創生緊急対策費で補正事業の殆どが27年度に繰越されたが予算の重要性を問う。

【町長】

今回の地方創生関連予算は、大きく2つのタイプに分けて、ひとつが「地域消費喚起・生活支援型」で、地域の消費喚起に直接効果を与える生活支援策が対象で、プレミアム商品券発行支援事業を実施する。

もうひとつが、「地方創生先行型」で、地方版総合戦略の策定や地域活性化支援する。

地方人口ビジョン策定調査・分析委託と、ブルーフラッグ認証取得のための関連予算が事業に該当する。

27年度当初予算については、庁

◆自主防災組織結成、進捗状況は

【山本】

現在、自主防災組織の立上げが11行政区と設立状況が進んでいない状況にある。設立した行政区に防災に寄与出来るハード補助をしては如何か。

【防災安全課長】

3月現在で、組織設立区が12区で次年度、検討区が8区と全体組織の結成進捗は進んでいない。結成に向けた啓発強化を図り、提案の設立を条件に中山間地への除雪機を、期限を設けて機器整備、機器貸与など必要な措置を前向きに検討する。



大型予算編成に対する財政見通しを問う

答弁 財政健全化の結果、将来負担が減少。発電所関連で歳入増加も見込まれる

小幡 憲仁 議員

【小幡】

新年度予算は112億円余りの大型予算となった。今後の財政見通しをどう見ているかを問う。また、予算の適正な執行が担保できるのか役場の執行体制を問う。

【副町長】

野瀬町長就任以来、財政健全化に努めた結果、財政に余裕が生まれ将来負担が減少。発電所関連での歳入の増加も見込まれる。今後の財政需要を取捨選択し安心できる財政見通しを示したい。予算執行も現有体制で十分可能。

◆認知症高齢者の増加に対する今後の対応について

【小幡】

国は2025年認知症高齢者が700万人に達するとして、国家戦略を定めて取り組む方針を示した。高浜町も国の戦略を踏まえ対応に取り組む必要がある。

【福祉課長】

認知症サポーターを若年層も含

◆学校の統廃合問題について

【小幡】

公立小・中学校統廃合の手引きが見直しされ、県内市町では学校統廃合に向けて検討委員会を設けるなど統廃合計画策定の動きがある。高浜町の今後の方針を問う。

【教育長】

学校教育は地域コミュニティと繋がりがあ。当面は地域に根ざした小規模校教育の徹底と施設長寿命化で学校数を維持する。

将来、人口減少が進み地域コミュニティが維持できない場合には、十分な時間をかけて検討したい。



高浜3、4号機再稼働問題について

渡邊 孝議員

【渡邊】

原子力規制委員会は、2月12日、高浜原発3、4号機について、再稼働の前提となる新規制基準に「適合」とする審査書を決定した。町長はこれについて住民説明会を実施すべきではないか。

また、原子力災害避難計画について、12月の一般質問以後具体化したものはあるか。

【町長】

限られた日、時間と場所で限られた方が聞く「説明会」ではなく、多くの住民が知る機会を設けることが重要と考え、町有線テレビ放送で広報することにした。質問も受け付けるので町民の声も確認できる。

【防災安全課長】

今年1月から、内閣府より7名の職員が福井県に派遣され、そのうち本庁には4名が常駐して、さまざまな課題を協議している。

◆介護保険について

【渡邊】

この4月から介護保険は大きく変えられる。その一つが、要支援者の訪問介護と通所介護が、介護保険給付から外されることである。高浜町はどう対処するのか。また、特別養護老人ホームへの入所は、原則、要介護3以上の人とされた。どう対応するのか。

【福祉課長】

要支援1、2の方の「訪問介護」「通所介護」は市町村が実施する地域支援事業へ移行することになった。当町では、平成29年4月から事業実施を予定しており、サービス低下のないよう検討を進める。

また、特別養護老人ホーム入所については、要介護3以下でも「特例入所」が認められているので、対象者の実情を踏まえ、円滑な入所に繋がるよう努めていく。



道路と下水道、上水道の 管理と安全について

西出 秀雄議員

◆道路の安全について

【西田】

南山手線の維持管理が悪く、危険であると町民の声がある。道路の中央線がない所や、側溝に枯れ草やゴミ等があり、標識・街灯も少なく危険に思うが、今後の道路の改修と京都府への接続の考えはないか。

【建設整備課長】

道路の点検、調査を実施している。予算状況に応じ緊急度、危険度を判断し、修繕工事を実施している。街灯は必要な箇所に設置。(29基)

京都府への接続計画は、国道27号線青葉トンネル整備が優先度が高く、国へ要望している。南山手線は、検討しながら道路の安全確保に努める。

◆下水道と上水道事業について

【西田】

下水道ポンプ場、管渠の管理について、電気、遠方監視システム

のあるマンホールは、保守点検等は行われているが、他のマンホールを点検することがあまり見えない。テレビ等でマンホールが爆発したことが報じられ危険だと思うが、年に何回か点検、清掃を行っているのか。

又、水道事業について、消防署や消防団で消火栓の点検はしているが、仕切弁と漏水の夜回り点検は行っているか。

【上下水道課長】

平成25年度から、管路等とマンホールを含めた清掃業務を、高浜町管工事協同組合に委託している。水道の仕切弁と夜間の漏水点検は、オフサイトセンターに設置の耐震性貯水槽及び高浜配水池の緊急遮断弁と、メーカーによる定期点検を実施。その他の仕切弁は管路の延伸工事等の時と、漏水修繕工事等で点検を実施している。

夜間の見回りで漏水探知機や、音聴棒を使って調査、点検を実施している。

予算決算常任委員会

委員長 山本 富夫

●議案第4号

■平成26年度高浜町一般会計補正予算

補正予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億8830万3千円を追加し歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ114億304万円とするものであった。

【審議(質疑)の概要】

政府の26年度緊急対策地方創生予算として「まち・ひと・仕事創生法」に基づいた人口減少調査ビジョン策定に620万円、商工業・産業活性化支援事業としてプレミアム商品券発行支援事業に1355万8千円、ブルーフラッグ認証事業取得に係る整備事業として1013万4千円、防災対策事業として内浦公民館の原子力災害時の施設改修等の対策費2億691万が新規事業として示された。

委員からは、緊急対策の事業目的、経済効果などの質疑がされ事業性について予算精査がなされた。本事業予算4件を含め12件10億4098万4千円は27年度に繰り

越されるものであった。

【全員賛成で可決】

高浜町プレミアム商品券発行事業

■販売額：50,000,000円

■発行額：60,000,000円

■発売日：平成27年5月25日(月)

■内容：

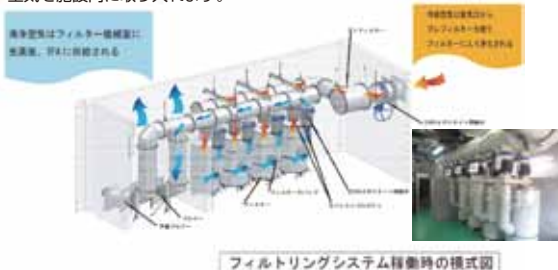
- 1セット／1,000円×12枚(プレミアム率20%)
- 販売価格／10,000円
- 購入上限／5セット(50,000円)
- 販売所／3か所
- 使用期限／平成27年5月25日～12月31日まで
- 使用制限／換金性の高いもの(商品券、ビール券、図書カード、切手、印紙、プリペイドカード、テレフォンカード、はがき、宝くじ)には使用できないものとする。



プレミアム商品券発行事業

空気浄化フィルター設備(フィルトリングシステム)の設置

原子力災害時に原子力発電所から放出される放射性ヨウ素を含んだ外気を施設内に取り込まないよう、これらを除去する空気浄化フィルター設備(フィルトリングシステム)を設置し、放射性ヨウ素ガスを除去し、浄化された空気を施設内に取り入れます。



内浦公民館原子力防災施設改修

●議案第14号

■平成27年度高浜町一般会計予算

当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ112億492万3千円で一般会計予算規模としては、野瀬町長就任以来最大の予算となった。

【審議(質疑)の概要】

平成28年度完成予定の新庁舎公民館建設工事費8億2088万8千円が計上され本格着工となる運びとなった。施工業者は、株式会社熊谷組が落札し、先般3月23日に現地において起工式が開催されて工事着工が図られた。



新庁舎公民館建設工事起工式

政策推進事業で、近年の企業ニーズとしてスポーツコミッションを生かした観光事業としてスポーツ若狭大飯郡スポーツコミッション

ン事業補助金300万円が新たに計上された。

園芸産地育成強化事業として、安土公有水面埋立地で執り行われる次世代大規模施設園芸整備事業費20億2500万円が計上され本年6月からトマト栽培がスタートし、28年4月からカット野菜工場が本格稼働され約150名の雇用の創出が見込まれる予定が示された。



次世代大規模園芸施設平面図

町村合併60周年記念事業費として496万7千円を計上。

平成29年7月予定の地方公共団

青葉山健康長寿の里平面図



生薬協会との協定調印式

体における番号制度導入に向けたマイナンバー制度導入対応総合行政システム改修業務等の予算5696万2千円が計上された。

まちづくり課事業として青葉山健康長寿の里事業費として、1億3445万7千円が計上され旧旅行村の環境保全、改修工事費、薬草の商品開発と東京生薬協会との協定締結など27年度に本格スタートに向けた予算が示された。

観光振興事業としてブルーフラッグ認証取得に係る和田海浜救護所改修事業費885万6千円が計上され認証取得に向けた33基準のクリアするための具体的な項目が示された。



和田海浜救護所改修予定建屋

鳥獣被害対策事業としては、被害対策の特に強い要望のあるネット柵、金網柵の設置補助金等に7153万9千円が示され被害軽減に向けた対策に本腰が上げられた。

教育費では、和田公民館建設に伴う測量調査設計業務委託料に1256万8千円が示され28年度建設着工に向けての計画が明確に

なった。

更に、平成30年開催予定の福井国体に向けた準備委員会補助金300万円、トライアスロン大会開催補助金に420万円など、福井国体高浜開催種目の大会事前準備の予算が示された。



トライアスロン開催予定地



和田公民館完成予定図

以上の新規事業予算を含め33事業が当初予算に計上された。

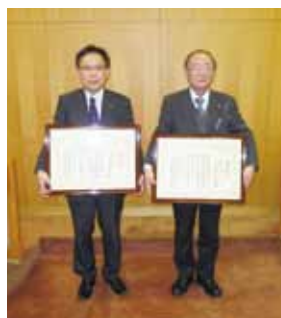
委員の多くからは、多額の事業予算の根拠となる目的、価値、方向性など高浜町の財務状況と整合

性について多くの総括質疑と意見が出され委員会質疑が終了した。

審議終了後、討論では一部反対の意思が示されたが、本予算を慎重審議の結果、

【賛成多数で可決】

町議会議員15年以上在職の自治功労者表彰受賞
山本議員(左)・西出議員(右)



議員全員記念写真

総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇ 3月16日午前9時より

役場3階会議室にて全員出席

●議案第10号

畑地係のマンホールポンプについて。

利用しながら工事を行い、完了後に繋ぐ行程で行うとの答弁があった。

●議案第11号

マンホールポンプが詰まるとのチラシが配布されていることについて。

下着・布製品など、水に溶けにくいものを流されると、故障の原因になるので注意願いたいとの答弁があった。

●議案第12号

現在2区画の契約が終了した。一区画は進行中である。この契約が成立すれば、残り23区画となるとの答弁があった。

●議案第13号

企業会計を複式簿記にならないのか。

定められた様式なので、現在のままで分かり易くしたいとの答弁があった。

●議案第19号

浄化に使用しているUF膜は消毒しても消えないばい菌も取り除けるとの答弁があった。

●議案第20号

雨水調整池は7年に一回の雨量、46・8ミリに対応できるとの答弁があった。

●議案第21号

平成30年には排水管の接続を完了するとの答弁があった。

●議案第22号

福井和郷の借地料は。

工場稼働後から見込んでいるとの答弁があった。

●議案第23号

今年度は4区画を見込んでいるが、消費税が上がるまでと言うことで見込んだとの答弁があった。

●議案第24号

送水管の耐震化が終われば、配水管の耐震化を、幹線の重要な部

分から行いたい。三松駅周辺の推進工事では、道路に3ヵ所の縦坑を掘り、仮設道路も付ける。との答弁があった。

●議案第26号

行政指導に関する条例であるが、実績はあるのか。

その様なことはなかったとの答弁があった。

●議案第27号

この条例は教育委員長と教育長を一本化することから必要になった条例である。

●議案第31号

この条例は、青少年旅行村に「青葉山健康長寿の里」を設置するためのものである。3月26日には、東京生薬協会と高浜町と薬草栽培の技術に関する協定が結ばれる。このことにより産業化への期待が膨らむものである。また観光薬草園としても期待する。青葉山の保全から、産業振興へと時間を掛けながら努力したい。また、人材の育成が大切であるとのことであった。

●議案第32号

この条例は、カドニウムの基準

を厳しくするものである。

●議案第40号

入札が不調になったことから、入札制度の指針を決めるべきではないか。すでに作ってあるとの答弁があった。

瓦屋根なので津波の時の避難場所にならないので、住民の不安があるが、災害対策本部は役場に置くが、避難場所としては考えていない。

高浜町の津波予測では、自宅の2階に避難する方が現実的であり、このことはこれまでも議論してきたとの答弁があった。

●陳情第4号

この陳情は状況を見てから判断をするとの意見が出された。

舞鶴若狭道の4車線化に関する意見書

舞若道が2車線のままでは十分な機能を発揮することは困難である。舞鶴西インターまでは事業化されている。東南海地震などの大規模災害・原子力事故の災害制圧道路として4車線化を強く要望するものである。

厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

◇3月17日午前9時より

役場3階会議室にて

委員7名・理事者出席

●議案第8号

町債の財政安定化資金について。

26年度、3661万7千円を借り入れ(無利子)6期の65歳以上の保険料にて3年間で返済する。

●議案第16号

診療所でのジェネリック医薬品の利用は。

現在、医師の考えで使用はされていないが、医療費軽減を図るため医師と相談し検討する。

●看護師3名の体制について。

医師3名・研修医の中で、訪問診療・在宅夜間診療への体制もあり充分とは言えない。
地域医療で在宅での看取りの事例も増える傾向にある。

●議案第18号

審査前に「第7次高浜町高齢者福

祉計画・第6次介護保険事業計画」の概要・策定内容について説明を受けた後審議した。介護保険料の基準額が6期の3840円から6100円と約160%の増額に質疑が集中した。

●増額の理由は。

施設整備や事業者が増えた事による、サービス利用者の増加が大きな要因である。

一般会計など公費投入はできないのか。今後、減額は見込めるか。

町としても公費や他の資金の組み入れなど様々検討したが、国の指導もあり又、制度上出来ない。今後もサービス利用者の減少は見込まず増加の傾向にある。町の人口割合から見ても、若年層への負担は極力避けたい。

保険料の極端な値上がりは町民の理解を得られない。町として救済的な対策を打つべきである。

理解を得るように丁寧な説明をしていく。国のプレミアム商品券の推移も注視しながら保険料減額に代わる何らかの手だて・方策を検討している。

●他の意見

前5期の保険料を準備基金取り崩しにより低い水準に設定していたので上がり幅が大きい。近隣市町に比べて極端に高いとは言えない。

●議案第33号

子ども子育て支援法による条例改正。

●議案第34・35・36・37号

介護保険法の改正により国基準から町基準として定める事による条例改正。

●議案第36号

議案第18号での議論を踏まえて、保険料減額に代わる対策を、目に見える形で早期に実施するようにとの強い要望があった。

●議案第39号

中央公民館と高浜地区公民館の区分けは。

高浜公民館は高浜地区を対象に中央公民館は町内全域を対象として、教育委員会の事務局内に設置し4地区公民館を取りまとめと全町対象とした事業を行う。

●条例施行日は。

庁舎・公民館の開館に合わせて平成29年1月4日を予定。

●公民館長の設置時期は。

開館の準備期間として半年程度前に、高浜地区区長会の推薦をもつて内定する予定。

●議案第41号

瑞祥苑の指定管理を常昼時2名夜間1名の管理体制で実績を踏まえてシルバー人材センターにお願いしたい。現在、高浜公民館完成まで公民館利用者への利用配慮を指定管理の中で申し入れしており、夜間の利用は増している。日曜日の使用も状況によっては対応する。

●議案第42号

従来通り、高浜町社会福祉協議会に指定管理を提案。

各担当課より議案審議後、「高浜町障害者基本計画・第4期障害福祉計画」「高浜町子ども・子育て支援事業計画」「インフルエンザ行動計画」について説明を受け、質疑応答した。

原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

■25年6月議会では、7月から施行される実用発電用原子炉に係る新規制基準(案)について、原子力規制庁地域原子力規制統括管理官を招き概要の説明を受け、質疑・意見交換。併せて防災安全課から高浜町地域防災計画「原子力防災編」の説明を受け、災害が発生してから実際の事象3段階に至るまでの流れ、それに伴う対策、計画の見直しの概要、安定ヨウ素剤の予防服用についての説明を受け質疑・意見交換。

■9月には原子力発電所の長期運転停止による高浜町における経済的影響について、若狭高浜観光協会、高浜町商工会長を招き、厳しい現状についての聞き取り、一刻も早い再稼働の要望などを受け意見交換を行うとともに、政策推進室からは経済情勢、産業政策について、また、まちづくり課からは緊急対策・激変緩和の支援政策の取り組み状況について説明を受け意見交換。

■12月には、7月8日に審査申請された、関西電力高浜発電所3、4号機の新基準適合審査の状況について、原子力規制庁統括管理官から聞き取りを行うとともに、資源エネルギー庁、原子力立地対策・広報室長からエネルギーを巡る情勢と課題、「エネルギー基本計画」に対する意見(案)についての聞き取り。

■26年6月には防災安全課に高浜町原子力災害住民避難計画について聞き取り。また関西電力高浜発電所長から、新規制基準適合性審査の対応状況、エネルギー基本計画における原子力の位置付け、政策の方向性、福井地裁おおい3、4号機運転差止訴訟について聞き取り。

■9月には先の東日本大震災における原子力災害を踏まえ、福井県・高浜町との共同実施である「原子力災害に備えての安定ヨウ素剤の事前配布」の方向性について防災安全課から説明を受けるとともに、8月31日に実施された福井県原子力防災訓練の結果報告を受け、質疑・意見交換。同日、13名の委員全員と議長も参加のもと、関西電力高

浜発電所を視察し、発電所の安全性向上に向けた取組について説明を受けた後、取水口防潮ゲート工事現場や防火帯の設置状況等の工事の進捗を視察をし、安全対策の状況を確認。

■10月16日には、福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会(敦賀市、美浜町、おおい町、高浜町で構成)の総会で決定しました事業内容に沿って、「責任あるエネルギー政策の構築等について」昨年に引き続き、県原協三役等により国への要望活動をはじめ原子力関連施設視察。

■11月17日には、関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会(美浜、おおい、高浜の3町で構成)の事業として、関西電力原子力事業本部を訪問し、同協議会の総会の議決内容に基づき、使用済燃料の中間貯蔵などを含む最重要案件について地域共生本部長に対し要請するとともに意見交換。

■12月には、関西電力高浜発電所長より高浜発電所の再稼働に向けた手続き、安全性向上に向けた取組状況、高浜1、2号機の特別点

検実施の概要について説明を受け、質疑。また防災安全課から高浜町原子力災害住民避難計画説明会及び安定ヨウ素剤の事前配布状況について報告を受けた。

■2月には関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会で大阪府泉南郡の原子燃料工業、熊取事業所へ、理事・委員・事務局22名で視察研修。

■本3月議会において、3月4日請願案件2件、陳情案件3件を慎重審議し、採択された陳情2件を意見書(案)にまとめ、「真の安全重視のもと、高浜発電所3、4号機の速やかな再稼働実施及び各種対策を政府に求める意見書」が本会議で採択されました。3月5日には、議長とともにこの意見書を福井県議会議長と経済産業省政務官に提出するとともに、翌3月6日には福井県・京都府選出国会議員各位他に意見書を提出。

以上が2年間の当特別委員会の主な活動内容の報告です。

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

平成27年度当初予算での獣害被害対策予算について担当課による詳細説明を求め、その対策方針について協議を行った。

平成27年度の対策歳出合計は、1億1946万1千円であり従来
の報奨金、委託業務、補助金に加え、新たに鳥獣被害調査委託と従事者育成業務が示された。

調査業務では、各集落に出向き被害状況を調査し、被害や対策の状況をマップに落とし込み現状の「見える化」を図る事。また従事者育成業務では、集落とコミュニケーションを確立し、追ひ払いの実施や捕獲員の少ない地域での捕獲など集落ぐるみで被害対策を取り組んで行くことが示された。今後専門機関・研究機関等の指導体制を検討している事も示された。

委員からは、多くの先進地を視察して来たが、大学の研究材料として専門家が従事していた市があり興味のある説明であった。高浜町にも招かれないのか。

恒久柵を設置して欲しいが、設置済の市、町からはメリット、デ

メリットが報告されていて、高浜町の地形にあった防護柵を検討しなければならぬ意見や、サルによる農作物の被害を防ぐ為には、群れの居場所と、移動方向が予測出来なければならない。テレメトリーによる調査では、追ひ払いと捕獲が可能になるなどの意見が出された。

担当課からは、農作物被害に留まらず住宅地での被害が多数報告されている。専門家による指導は今年度の調査業務が進んでいく中で、検討しなければならないと認識している。恒久柵についても検討して行く段階で、他市町のデメリットの部分については、既存のネット柵は補強して行く。またテレメトリー調査については様々なシステムがあり検討する。

今後の被害対策は原点に戻り役割分担を明確化し、各種団体と連携を取りながら被害軽減と鳥獣害に強い集落づくりの構築を目指すとの答弁であった。



地域医療・福祉問題調査特別委員会

委員長 廣瀬とし子

高浜町の住民が安心して医療・福祉をうけることを目指し医療体制・福祉問題の充実を図るために特別委員会を立ち上げ、議員6名で構成して活動を行った。

■地域医療について

社会保険病院等の運営を行う、独立行政法人地域医療機能推進機構へ改組する。略称(ジェイコー)若狭高浜病院である。昨年5月から外来看護師不足のため土曜日・日曜日午後5時～翌朝8時30分まで救急搬送患者を含むすべてが外来診察は中止である。住民からは不安の声も聞く。中核病院として機能を求める。入院患者対象の放射線防護施設の視察を行った。

■介護施設について

高浜町には介護施設が6施設ある。各施設での事業の取り組みや現状・課題等説明を聞き、意見交換を行った。株式会社ぐらっどりーでは、町内にない新たな介護サービスを創造する。新規事業地域密

着型小規模多機能型居宅介護は住み慣れた自宅や地域の中で生活を安心して送れることである。定員数は 登録定員25名・通い定員13名・宿泊定員5名である。利用率は4月で50%である。利用対象は被保険者(要支援介護認定者)のうち高浜町民限定である。

グッとサポートの取り組みで介護職員初任者研修を平成25年8月から始め、現在で5講座で80名が修了する。



■こども・子育て支援新制度

こども・子育て支援新制度が平成27年4月にスタートする。日本のこども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、「こども・子育て支援法」という法律ができる。

■嶺南振興局敦賀児童相談所視察

児童相談所は、必要に応じ、児童を一時保護する施設を設けなければならない。嶺南全域を所管としている。

「地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム2014」に参加して

たかはま地域医療サポーターの会

代表 今井 宗雄

平成27年2月7日(土)・8日(日)

の両日、東京都道府県会館で開催された「地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム」に活動事例発表者として「たかはま地域医療サポーターの会」メンバー5名とともに参加させていただきまし

た。

このシンポジウムは、公益財団法人 地域社会振興財団が主催で、保健・医療・福祉等の諸問題について総合的な研究を通じ、地方自治基盤の充実に寄与するという目的の一環で、2009年から毎年開催されています。全国から地域医療に関わる住民活動団体を中心に、行政・医療関係者等が百名以上も参加集結されるという、私達にとっては言わば聖地であり原点のような大切な存在となります。

限られた2日間の中に、事例発表・グループワーク・懇親会・ポスター発表等の充実したプログラムが綿密に組まれています。「たかはま地域医療サポーターの会」からも、会の発足2009年以降は3名前後のメンバーが欠かさず参加し、

他地域での先進的な取り組みや情報意見交換・共有を行い活動案や糧としてきました。

これまで高浜町からも、副町長をはじめ町議会議員(今回も4名参加)・医療関係者の皆さんも参加赤ふん坊やも毎回参加)され、福井県高浜町は地域医療問題に「一丸となり積極的に取り組んでいる町」という姿勢を全国に見せてきました。今回その成果もあり「たかはま医療サポーターの会」に事例発表の大役をいただいたことは、チーム高浜

としても喜ばしく栄誉なことと感じています。

「地域医療に理解のある町・高浜町」という取り組みやイメージは、町内や近隣地域の医療資源・環境を充実させ存続させるために必要不可欠です。そしてその中心となるべきは、行政や医療関係者と協働を図りながらも「地域そのものである私達」住民なのです。今後も町内外に向け、地域医療を守り育てるという意識や活動の必要性の発信を続けることにより、住み良い高浜町のまちづくりに少しでも貢献できればと思っています。



地域医療を守り育てる五か条 (すべて「か」から始まる五か条)

- 一. **か**んしん(関心)を持とう。
- 二. **か**かりつけを持とう。
- 三. **か**らだづくりに取り組もう。
- 四. **が**くせい(学生)教育に協力しよう。
- 五. **か**んしゃ(感謝)の気持ちを伝えよう。



編集後記

早くも、任期最後の「議会だより」となります。この2年間の最大の課題は、九州川内原発に続き、高浜原発3・4号機が新規制基準に適合との原子力規制委員会の判断が下された事でした。▼高浜町議会では、23年9月・24年9月議会で「再稼働を求める決議案」を採択してきました。その際には、マスコミから手厳しい批判の嵐を受けました。

▼3度目となる「町議会での意見書採択」については、丁寧且つ慎重に議会の論議を積み重ねると共に、意見書に記された8項目の要望を県議会・福井県知事・政府に提出し、その実現に向け最大限の努力をする事と致しました。▼3月議会は、新年度予算を審議する大切な議会であることから、議会冒頭での原発への対応を終結させ、予算審議に集中出来るよう「熟慮の末の議会日程」とし「原発と新年度予算」の両立する手段をとりました。

▼町民の皆様の理解と、町会議員各位の協力が心からの感謝を申し上げます。(謝々)。

広報特別委員会

委員長	栗野 明雄
副委員長	的場 輝夫
委員	山本 富夫
	横田 則孝
	廣瀬とし子
	上尾 徳郎

文責 的場 輝夫